

令和6年第2回美浜町議会定例会

(令和6年6月3日開議)

町長あいさつ（提案理由の説明）

令和6年第2回美浜町議会定例会の開会にあたり、議員各位には、お忙しい中お繰り合わせご出席いただき厚く御礼を申し上げます。

それでは、町政諸般のご報告を申し述べますとともに、今回ご提案いたします議案等の概要についてご説明申し上げます。

初めに、本年春の叙勲におきまして、金田英男氏が長年にわたる消防業務の功績が高く評価され瑞宝双光章を、また、田邊義郎氏が長年にわたるローイング競技力の向上と普及拡大の功績が高く評価され旭日単光章を受章されました。

この栄誉を心からお祝い申し上げますとともに、これまでのご功績に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げ、一層のご活躍をご祈念する次第であります。

次に、北陸新幹線敦賀開業にかかる観光入込状況等について申し上げます。

3月16日に長年の悲願、北陸新幹線敦賀開業が実現し、川畑議長とともに敦賀駅や福井駅で開催された開業式典に出席させていただきました。当日は、待ち望んでいた多くの県民や関係者の皆様と喜びを分かち合うとともに、新幹線時代の幕開けを迎え、地域づくりに向けて決意を新たにしたところです。

開業から2か月余りが経過したわけですが、県内はもとより敦賀を中心に三方五湖一帯は、テレビや雑誌、SNSで取り上げられることが多く、注目のエリアとして、多くの観光客が訪れています。

本町における3月から5月までのレインボーラインや道の駅「はまびより」等への観光入込数は、昨年同時期と比べ57%増の約30万5千人、また、ホテルや民宿等への宿泊者数は、13%増の約1万人となっており、町の優先施策として進めてきた

新幹線開業を見据えた施策や地元関係者の皆さんの努力の成果と考えています。

しかしながら、観光客の動向は施設や時期、曜日により濃淡があり効果も限定的であること、経済効果の高い飲食や宿泊を如何に確保するかなど、課題も見えてきています。

そのため、町では観光専門事業者による所要の調査を進め、詳細な分析による実情に即した対応策を適時講じることで、開業効果を持続的かつあまねく享受できるよう努めてまいります。

次に、人口減少対策について申し上げます。

昨年12月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した日本の地域別将来推計人口に基づき、人口戦略会議が地方自治体の「持続可能性」について分析した結果が、この4月に公表されました。それによりますと、美浜町は10年前に示された消滅の可能性がある自治体から脱却したと分析されています。

これは、本町が人口減少対策を優先施策の一つと位置づけ、子育て支援や教育環境の充実、産業振興や雇用対策、若者の定住化促進やにぎわいの創出など、所要の施策に鋭意取り組んできた結果と受け止めています。

しかしながら、分析の根拠となる20代、30代の女性の転出も多く、人口減少が進んでいることから、今後とも、第2期美浜創生総合戦略に基づき、社会情勢や地域課題を把握分析しながら機動的に人口減少対策を進めていく所存であります。

次に、原子力政策について申し上げます。

先般、総合資源エネルギー調査会・基本政策分科会が開催され、次期エネルギー基本計画の見直しに向けた議論が始まりました。

この見直しに際し、GX推進戦略や原子力基本法などGX脱炭素電源法で示された原子力活用の方針や国の責務を踏まえ、原子力の将来像を明確にするとともに、国の責務による立地地域の振興や安全安心の最大限の確保について、しっかりと反映していただくよう国へ強く働きかけてまいります。

また、能登半島地震の惨状を目の当たりにして、避難道路の多重化・強靱化の重要性を改めて痛感させられました。リスクを受け止め、国策に協力している立地地域の安全安心の確保は、国の重要な責務であり、かねてより切望してきた新庄・高島間の道路整備や発電所に至る県道の電柱地中化などの早期実現に向けて、議会とともに強く要請していく所存であります。

次に、「第36回美浜・五木ひろしふるさとマラソン」について申し上げます。

今回も多くの皆様のご理解とご協力の下、県内外から1,721人の皆様のご参加をいただき、本大会を成功裏に開催することが出来ました。

改めて、五木ひろしさんはじめ、関係各位のご尽力の賜物と心から感謝を申し上げますとともに、来年は、是非とも五木さんにご参加いただき、より充実した大会となるよう準備を進めてまいります。

さて、美浜のまちづくりの方向性と将来像は、「みんなで創り^{つく} 絆ぎ^{つな} 集う^{つど} 美^{うま}し美浜」であり、その源泉は「地域愛」であります。こうした方向性に沿って、町内の様々な地域や団体による協働のまちづくりが始動しています。

はじめに、「みんなで取り組む環境保全・美化活動」について申し上げます。

町が誇る美しい海浜の環境保全活動、「美しい浜プロジェクト」は、4年目を迎えました。今年第1弾として4月に水晶浜で実施いたしました。当日は、参加いただいた町民や議員各位、地元企業、応援クルーなど約200人の皆様の精力的な活動により、漂着ごみが散乱する砂浜が見違えるほど美しい浜に蘇りました。

ご協力いただきました皆さん方に厚く御礼を申し上げます。

引き続き、第2弾として今週日曜日に「クリーン・ザ・シー・キャンペーン」を久々子海岸で、第3弾として7月に「スポGOMI^ゴ甲子園^ミ」を松原海岸で開催することとしています。

こうした活動のほか、三方五湖をはじめとする町の美しい自然景観の保全や、おも

てなし環境の醸成に向けて、環境美化活動を進めてまいりますので、町民の皆様はじめ関係者の皆様のご理解とご協力、ご参加をお願い申し上げます。

次に、「みんなで創る憩いの芝生広場」について申し上げます。

本年3月に、総合運動公園と北西郷公民館グラウンドにおいて、憩いの広場をみんなで創ることを目的として、多くの町民の皆さんの参加をいただき、芝生苗の植え付け作業を行いました。

ここは、汗をかかれた皆さんの思い入れ深い広場にもなると考えており、緑の芝生が広がる秋頃には、子どもからお年寄りまで多くの方々が集い、笑顔あふれる憩いの広場として、スポーツやレクリエーションにご利用いただけたと思います。

改めて、ご理解とご協力、ご参加を頂いた皆さんに御礼を申し上げます。

次に、地域愛あふれる活動について申し上げます。

はじめに、長年にわたり山東地区で子どもたちに本の読み聞かせ活動を続けてこられた「めめたんごの会」が、この4月に子どもの読書活動優秀実践団体に選ばれ、文部科学大臣表彰を受賞されました。地域の子どもたちに対する愛情あふれる活動に、敬意を表するとともに、心より感謝を申し上げる次第であります。

さて、今年の春は、町内各地で伝統行事や手作りの集落イベントが開催され、町はにぎわいと活気にあふれました。

悠久の昔から受け継がれてきた、王の舞や獅子舞、子供歌舞伎などの祭礼神事は、コロナ禍を経て、5年ぶりに従来の規模に復活し奉納されました。こうした伝統行事は、人と人との繋がりや、地域への誇り、愛着、地域愛を醸成する拠り所でもあり、時代の流れを受け止め次世代へ着実に継承しなければならないと考えています。

また、集落では、菅浜わくわく協働体の食堂や活発な地域活動、佐柿区の有志団体が主催する「2024国吉城まつり」が盛大に開催された他、「太田enjoy農楽舎」は、ソバの栽培と地域づくりが評価され「全国そば優良生産表彰」日本蕎麦協会会長賞を受賞されました。

何れも、集落固有の魅力を活かした企画、工夫を凝らした活動であり、地域住民の強い結束力と地域を想う熱い気持ちと地域愛に感銘を受けました。コロナ禍によるこの数年間の空白期により、全国的に伝統行事や地域活動の衰退が懸念される中で、町内で伝統行事の復活や地域活動が活性化することはとても意義深く、持続可能な集落づくりという課題に行政はしっかりと向き合っていく必要があると考えています。

次に「地域力が育む防災力」について申し上げます。

災害が頻発する中、全国的に消防団員が減少するなど地域防災体制の維持が大きな課題となっていますが、美浜消防団は、団員確保や地域防災力の向上に取り組む活動が高く評価され、この3月に総務省の「消防団・地域貢献表彰」を受賞いたしました。

また、美^{うま}野^の区は、全国でも稀となる新設自治区での消防団の結成と活動が評価され、3月に日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽積載車が寄贈されました。

郷市区自主防災会では、他の自治体の範となる優れた地域活動として評価され、このほど「福井県自治会活動功労表彰」の受賞が決定したところであります。

心よりお祝いを申し上げますとともに、地域を愛し地域を守る志の高さに、改めて敬意を表するものであり、誇りに思うところであります。

これからも、地域防災の要、また模範として一層の活躍を期待するところであり、町といたしましても集落や自主防災組織と消防団体等とともに、地域防災力の強化に努めてまいります。

次に、災害の教訓を踏まえた、防災対策の充実・強化について申し上げます。

町では、能登半島地震の教訓を踏まえ、防災計画や津波ハザードマップ、減災マップ等の見直しを図り、住民目線による防災・減災対策の充実強化に努めてまいります。また、この4月に「災害廃棄物等の処理に関する基本協定」を、廃棄物処理大手の大栄^{だいえい}環^{かん}境^{きやう}株式会社と締結し、大規模災害時の廃棄物を円滑に処理することで迅速な復旧復興に資する体制を強化したところであります。

次に、にぎわいゾーンにおける交流と未来を担う人づくりについて申し上げます。

この3月に美浜ライオンズクラブから、にぎわいゾーンの一角、美浜駅前に「MIHAMA」のモニュメントを寄贈いただきました。町の魅力アップと誘客に大きな役割を果たすとともに、その裏面「^{アマアハイム}AMAHIM」は、「私たちの愛する家・美浜町」を意味しており、まちづくりのシンボルとして大きな存在感と意義を感じています。

改めて、本団体の奉仕活動やご厚志に心より御礼を申し上げます。

にぎわいゾーンの核、道の駅「はまびより」は、昨年6月2日にオープンし、1年が経過した訳ですが、来場者は45万人を超え、にぎわいの創出に大きな役割を担う施設となっています。

昨日までの2日間、美浜の食をPRする開業1周年記念イベントが開催され、へしこや地酒をはじめとした美浜の「おいしい」を集めた試食・販売が行われるなど、多くの来場者でにぎわいました。

引き続き、この施設が、人と人との交流拠点となり、美浜の「人・食・見どころ」といった「美し美浜」を堪能できる拠点として利活用が進むよう、関係者と連携しながら取り組んでまいります。

4月から、なびあす内の「なびカフェ」において、美方高校生による平日ランチと休日カフェを開始しています。これは、調理師免許の取得を目指す生徒たちの、調理のメニューや接客などを学ぶ実践の場として提供するもので、今後は一般を対象に、カフェなど起業を目指すチャレンジの場ができるよう準備を進めてまいります。

また、主に中高生を対象に、美浜町出身者や縁のある方を講師に招いて、「シナプス先輩大学」を開講します。講師の成功体験や、外から見た美浜の良さを知る機会を提供することで、子どもたちの将来の選択肢や可能性を広げるとともに、地元への誇りと愛着心など地域愛の醸成に繋げてまいります。

このほか、にぎわいゾーンの一角に、幅広い世代や町内外の人と人を結ぶ交流の拠点として、(仮称)にぎわい交流センターを整備、来春のオープンを予定しており、学びによる新たなにぎわい創出と、まちの未来を担う人づくりの環境を整備してまいります。

また、この10月に、にぎわいゾーンにおいて地域住民や若者世代が企画運営する

「はまなびフェスタ2024」を開催します。今年は、町制70周年と北陸新幹線開業の記念事業として全国規模の鯖サミットを誘致、はまなびフェスタとの同時開催による相乗効果により、町内外から多くの集客を図り、広く美浜町をPR、交流人口の拡大とにぎわいの創出に努めてまいります。

次に、「山口良治杯少年ラグビー大会」について申し上げます。

8月25日に、町の総合運動公園で、関西地方を中心とする小学生32チームが集い、山口良治杯少年ラグビー大会が開催されます。本大会は県内外から保護者含め、千人規模の入込があることから、少年ラグビーの更なる普及発展はもとより、町の魅力を存分に堪能できる「おもてなし」の提供による美浜のファンの獲得と交流人口の持続的な拡大につなげていきたいと考えています。

さて、本日ご提案いたしました各議案につきまして、その概要と提案理由をご説明申し上げます。

議案第36号及び37号につきましては、地方税法等の一部を改正する法律等が3月30日に公布され、4月1日に施行されることに伴い、美浜町税条例及び美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する必要性が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため、3月30日に専決処分いたしましたので、これを報告し、議会の承認を求めるものであります。

議案第38号 美浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、法律の一部を改正する法律等が5月27日に施行されることに伴い、同条例の一部を改正する必要性が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため、5月22日に専決処分いたしましたので、これを報告し、議会の承認を求めるものであります。

議案第39号 令和6年度美浜町一般会計補正予算（第1号）につきましては、歳

入歳出それぞれ14億5,976万3千円を追加し、予算総額を91億4,418万3千円とするものであります。

今回の補正予算の内容といたしましては、町振興計画の将来像「みんなで創り絆ぎ集う美し美浜」の実現に向けた予算として、優先施策を中心に事業実施の効果が高い政策的事業予算を計上し、まちづくりを機動的に進めていくものであります。

あわせて、当初予算編成時以降に採択を受けた国、県の補助事業や、計画的あるいは緊急性を要する公共施設や道路等の維持補修費など、現時点において措置する必要がある事務事業を厳選し、追加計上いたしました。

歳出予算の主な内容を申し上げますと、総務費では、第2期役場庁舎改修事業や庁内DX推進に係る経費、また、幅広い世代等の交流拠点となる、(仮称)にぎわい交流センターの整備費用などで、7億8,675万1千円を計上いたしました。

民生費では、「はあとぴあ」の照明LED化に係る経費のほか、非課税世帯等の負担軽減を図るための経費、敬老会の開催経費などで、5,434万9千円を計上いたしました。

衛生費では、高齢者の新型コロナウイルスワクチンの接種助成費用などで、3,031万1千円を計上いたしました。

農林水産業費では、農業用排水路等機能改善対策経費のほか、林道の保全経費、町管理漁港施設の維持管理経費などで、1億4,403万円を計上いたしました。

商工費では、美浜町レイクセンターの運営経費などで、3,929万1千円を計上いたしました。

土木費では、町道駅前線第2工区の用地買収及び物件補償に係る経費のほか、町道の改良・維持補修経費などで、2億7,001万5千円を計上いたしました。

消防費では、地域防災計画及び津波ハザードマップ見直し業務に係る経費などで、1,819万7千円を計上いたしました。

教育費では、「なびあす」の照明LED化に係る経費のほか、美浜西小学校グラウンドの整備経費などで、1億1,658万9千円を計上いたしました。

以上が一般会計補正予算の歳出予算の主なものでありますが、これに見合う主な財源といたしまして、町税で4億738万4千円、国・県支出金で5億1,176万1千円、基金繰入金で5億3,665万5千円などを充当し、収支の均衡を図った次第であります。

次に、各特別会計の補正予算であります、

議案第40号 令和6年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、被保険者証の廃止に伴うシステム改修経費として、歳入歳出それぞれ111万5千円を追加し、予算総額を11億7,222万1千円とするものであります。

議案第41号 令和6年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、美浜西小学校前住宅分譲地の整備に伴い、歳入歳出それぞれ64万2千円を追加し、予算総額を2,648万4千円とするものであります。

議案第42号 令和6年度美浜町下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、集落排水処理施設の改修経費等で、3,439万4千円を追加し、予算総額を15億549万5千円とするものであります。

議案第43号 美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、職員の適正な処遇の確保を図るため、国家公務員等の給与制度を踏まえ、一般職の職員の給与の見直しを行いたく、本案を提出した次第であります。

議案第44号から議案第47号までの4議案につきましては、介護保険事業における指定居宅介護支援等の事業及び指定介護予防支援等の事業、並びに指定地域密着型サービス等の事業に関する基準等が一部改正されたことに伴い、それぞれの関係規定等を整備したく、提出した次第であります。

議案第48号 美浜町産業団地事業特別会計減債基金条例を廃止する条例の制定につきましては、当該事業基金の処分に伴い、関係条例を廃止したく、本案を提出した次第であります。

以上、ご提案いたしました議案について、それぞれ概要をご説明申し上げましたが、不備な点等につきましては、その都度、私又は関係者からご説明申し上げますので、何卒慎重ご審議の上、妥当なご決議を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶と提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。